

# 静岡県 富士市の新ポンプ場起工

## DB+包括的民間委託 施工は大豊建設JV



静岡県企業局が設計・施工一括（DB）+包括的民間委託方式で整備する「ふじさん工業用水道」の新ポンプ場の起工式が9日、富士市伝法の現地で開かれた。完成イメージ（大豊建設提供）。

神事では建設技術研究所の関根秀明中部支店長が鎌、川田剛宏企業局長と金指祐樹富士市長、ユーザーを代表して「ふじさん工業用水道協力会の藤原隆史会長（日本製紙富士工場長）が

大豊建設の浅田潤一専務執行役員土木本部長が鋤を入れ、工事の安全を祈願した。



鎌入れする関根支店長

神事後のあいさつで川田局長は「新ポンプ場は水質の良い芝川水源を最大限に利用する、水運用変更の肝となる施設だ。富士地区の皆さまに工業用水を届けるため、安全対策に万全を期すとともに技術力を存分に発揮してもらいたい」と話した。

浅田専務は「恵まれた水資源を生かし、地域産業を支えてきた工業用水道を次世代につなぐ重要な工事の一端を担うことに大きな使命を感じている。各社の強みを生かし、持続可能な事業



鋤入れする川田局長

業運営に貢献する施設整備に取り組んでいく」と意気込みを語った。

ふじさん工業用水は、旧富士川工業用水道（管路延長22キロ）と旧東駿河湾工業用水道（98キロ）を統合した施設。施設や管路の老朽化対応などに対応するため、官民連携手法を導入し民間の技術やノウハウを取り入れた施設の新設や運転・維持管理を行う。

企業局が24年に「ふじさん工業用水道新ポンプ場整備を伴う包括的民間委託事業（更新支援型）」を一般



鋤入れする浅田専務執行役員

競争入札し、大豊建設を代表とする企業グループが受注した。

新ポンプ場の計画水量は1日当たり18万0800立方メートル。原水槽、ポンプ棟、ポンプ設備、電気設備を整備する。国内の工業用水道では初めてウォーターPP（レベル3・5）を導入する。工期は29年3月まで。運転・維持管理期間は31年3月まで。31年4月以降は運営実績を考慮して事業手法を検討する。

三好浩司所長（大豊建設）の話



「50年前に埋められた水道管とポンプ場をつなぐ工事。万全を期して挑みたい。県ともよいパートナーシップを築き、ふじさん工業用水道の最適化に貢献する」。

